

No.22
2003年9月1日

いい旅

Peace
Green
Humanity

いい仲間

発行所：(株)富士国際旅行社
編集者：「いい旅いい仲間」編集委員会
〒160-0022 東京都新宿区
新宿2丁目11 7 第33宮庭ビル4階
☎ 03-3357-3377 FAX 03-3357-3317
E-mail：gm@fits-tyo.com
URL：www.fits-tyo.com
印刷所・光陽印刷(株) 発行部数/25,000部



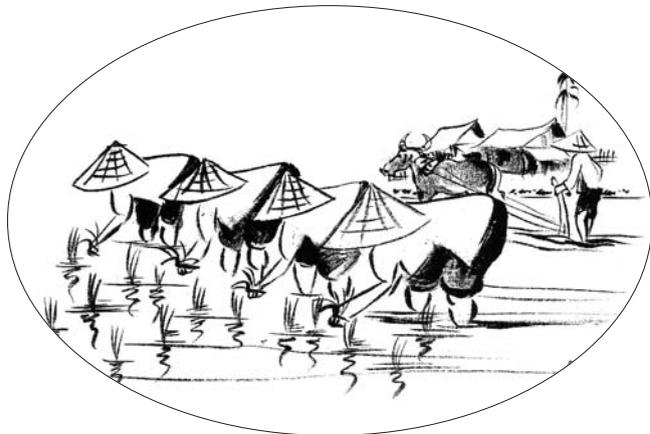
近くなったベトナム

直行便が東京、大阪、加えて福岡からもあり、週四〇便以上も飛ぶようになり、五、六時間で行ける近い国になった。ベトナム戦争中もその後の七〇年代も一、二方国経由で行く「遠い国」だった。急ぐがゆえに一番遠回りしてモスクワ経由でという人もいた。

活気あふれる経済と人々

ドイモイ政策以後、民営化や外資導入も好結果をうみ、経済は急成長中。国民生活は向上し、収入格差は広がっているようだが、底辺の底上げも進んでいる。

外国人客のオアシス、ズンなので大割引、週末はベトナム人家族であふれていた。外人観光客が減ったので、町は活気にあふれている。都会は五〇ccバイクの洪水で、急増を抑えるのに当局は苦心している。レジャーも国民生活に根をおろし夏のハロンの海辺はベトナム人専用の舞台。



Vietnam

いまベトナムは元気い 新鮮でおもしろい

SARSにより観光分野で五億ドル以上の損失をこうむったベトナムを励ませよう。六月にベトナムを訪問しました。人々も町も活気にあふれ、再び元気をもらいました。

た六月も、二二〇ドルで五日間のタイへの海外旅行が大人気のようだ。

SARSを最初に制圧

バイクの女性たちはカラフルな三角マスクをして疾走する。「ずいぶん徹底した予防策」と思ったら、日焼けとホコリ対策の日常の姿だった。

新型肺炎の死者がでた国で、最初に制圧したのがベトナム。発端は、アメリカ国籍の中国人が香港で感染し、ベトナム到着後に発病したためだった。多くの医療関係者が犠牲となったが、諸外国の専門家の協力も得て、制圧に成功した。

国内外に向かい、情報が公開されていたのが早期克服の要因と言われている。ベトナム戦争時に活用された、全土に張り巡らされた拡声器放送網が力を発揮し、全国民へ対応策を徹底したようだ。

感染者を収容したハノイの病院の一つは「エアコンを止め、窓を開け新鮮な空気を入れて日光で病室内を殺菌した」とベトナム方式を語っている。WHOや西洋医学の権威者は疑問視しているようだが……。

何でもあり、隠さず公表

社会主義国だから犯罪がないとは思わないが、あらゆる犯罪に加え、子どもの物乞い、ストライキ、麻薬など、何でもある。「ある」こと以上に、新聞紙上に報道され、英字新聞や各紙の日本語訳がインターネットで「公開」されているのが驚きだ。国家的(?)な「恥」を隠したり、発表を止めたりしない、自由とおおらかさがある。

半年間の新聞の社会面に登場したのは、麻薬中毒の泥棒、麻薬密売にせれ、密輸マフィア、贗造骨董品、スチューデスによる大量の携帯電話密輸、税関への賄賂、サッカー賭博、高級ゴルフとそのピンはね、中国への人身売買……。

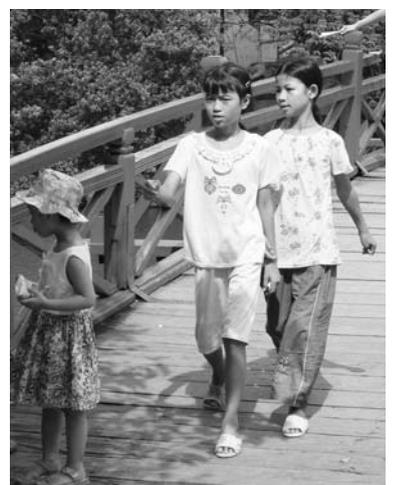
中部の世界文化遺産

古都フエの中世の建築群、フエの四〇km南のホイアンの町、その南の遺跡ミソン。ベトナム中部のこれら三つの世界遺産と町が目ざされている。中部はのんびりと旅を楽しめる小さな町と静かな海岸が魅力。ホイアンは海のシルクロードの町、朱印船交易の時代に日本人町もあった。最近五つ星のリゾート・ホテルもできた。

ミソンにはアンコールワットと同系統のヒンドゥー教寺院群の遺跡が残されている。桂林やナポリと比べても負けないハロン湾。陸からの朝夕の海と島々の表情を見れば、心が

ハロン湾を見て死ぬ

松島や宮島、桂林やナポリと比べても負けないハロン湾。陸からの朝夕の海と島々の表情を見れば、心が



ハノイの少女



ハノイ旧市街

人気上昇中、北部のサパ

山間の少数民族の村、棚田や三千メートル峰の眺めなどで人気上昇中なのがサパ。豪華寝台列車での旅も楽しめる。

変化に富んだ南国の自然
 ホーチミンの南東50kmのカンザイではマングローブの林を船で巡るエコツアーもできる。全国に10の国立公園があり、他に二七の自然保存区がある。その一つフォンニャの鍾乳洞は今年世界遺産に指定された。世界一の長さで約8km、地底に湖と川もある。

ディエンビエンフー
 来年は抗仏戦争勝利五〇周年。ディエンビエンフーには戦跡も残り、再び注目される。

ベトナム戦争の博物館
 ベトナム反戦世代にとって、ベトナムは青春時代の「心のふるさと」。ホーチミンの戦争証跡博物館、革命博物館、ハノイの革命博物館などは現代史をたどる博物館。戦争の悲惨さを伝える。今なお犠牲者を生み続ける枯葉剤などの戦争犯罪を告発している。

解放戦争の心の支えとなった歴史的勝利地へ ディエンビエンフー戦勝50周年記念に ベトナムへ

1953年、徐々に劣勢になり始めたフランスは、戦局を挽回するためにハノイの西北約500kmにある小さな村ディエンビエンフーに空挺部隊を投下しました。それから約2ヶ月にも及ぶ包囲戦の末、ベトナム軍はフランス軍に勝利をしました。ポー・ゲン・ザップ将軍率いるベトナム軍が一斉に攻撃に出た1954年5月7日をディエンビエンフーの戦勝記念日にさだめました。

2004年5月7日は戦勝記念日50周年の節目の年にあたります。ベトナム側も記念式典などを予定しているようです。

<予定行程>ハノイ ディエンビエンフー ハノイ

50周年記念行事は現時点では未定です。上記日程は予定となります。そのため出発日や期間は後日発表となります。ディエンビエンフーの周辺は山岳民族が数多く暮らす地方ですので、市場や民家訪問、棚田見学なども組み入れたいと考えています。



水上人形劇

新聞や雑誌で見たことのある写真、インドシナ各地で行方不明あるいは犠牲となったジャーナリストに関する展示。ベトナム人民支援のポスターや旗など日本との関わる展示は、胸に迫るものがある。

(臨時ベトナム特派員市原芳夫)

Vietnam

がんばれベトナム

国交樹立三〇周年のベトナムに訪問して

工藤 勝雄
 工藤千鶴子

青春のベトナム

ベトナムが、かつてフランスの植民地であったことはしななかったが、トンキン湾事件(一九六四年)がアメリカのでっちあげであり、正義は北ベトナム側にあると信じ、あの時一日分の賃金をカンパしたことを今でも鮮明に覚えています。

あれから四十年近くになりますが、本を読んだり、写真を観たりしましたが、いつかチャンスがあったら是非現地へ行って困難の中でいかにベトナム戦争を闘ったかを少しでも知りたいと思っていました。

今の時期、日本一気温の低い北海道釧路からの参加はしんどいものがありました。毎日「アチチ、アチチ」の連続でしたが、見るものや聞くものに感動していました。添乗員さんも大変良くしていただき大変に満足した旅行でした。

懐かしいベトナムの風景

車窓から見るベトナムの生活、市場や問屋街の様子を見ると日本の私たちの子ども頃の思い出が蘇ります。目に飛び込んできましたが、アメリカを負かしたベトナム人民の力で近い将来必ず人間性豊かな生活環境を作り上げるであろうと信じてベトナムを後にしました。

気温差二〇度の世界
 今回、新聞紙上でベトナム旅行計画を知り、なんとか都合をつけて七月一日出発のコースに参加することができ、長年の夢がかなえたと思っています。

同行した人たちは今回始めて会った人とは思えない程、気心が合い、楽しく過ごすことができました。また何処かでお会いできることを楽しみにしています。



ハノイ・一柱寺にて(中央が工藤千鶴子さん)

ベトナム・カンボジアの旅

中部の世界遺産を巡る旅 古都フエと海のシルクロードホイアン 8日間

2003年11月 7日(金)発・12月12日(金)発 215,000円
 2004年 2月 6日(金)発・ 3月26日(金)発 228,000円

行程 | ホーチミン市 フエ ホイアン
 ホーチミン市 機中

日本ともなじみの深い街ホイアンをシクロ(自転車の前に座席を付けた人力車)でのんびりと巡ります。リゾートホテルでゆったりと過ごす2日間が他の旅行ではない魅力。最後の伝説王朝が花開いた都フエは、2都市ともに街自体が世界遺産。雅なベトナム文化に触れます。ベトナム戦争の状況を告発する戦争証跡博物館を訪れます。

自然が織りなす美しさを持つハロン湾と首都ハノイ 平和村訪問とハロン湾クルーズ 6日間

2003年10月30日(木)~11月 4日(火) 198,000円
 2003年11月11日(火)発・12月 9日(火)発 196,000円
 2004年 2月10日(火)発・ 3月25日(木)発 208,000円

行程 | ハノイ ハロン湾 ハノイ 機中

世界遺産「ハロン湾」の神秘的な風景とホーチミン市の美しい町並みや活気。首都ハノイの縁が多く落ち着いた雰囲気などベトナムのさまざまな姿を満喫できるコースです。ハノイでは、枯葉剤の影響で障害を持った子どもたちが治療、リハビリを行っている「ハノイ平和村」を訪問して医師のお話しなどを聞く予定です。ベトナム伝統芸能の水上人形劇観賞も楽しみの一つです。

少数民族の村に宿泊 少数民族の暮らしにふれる 8日間

2003年11月 6日(木)発・12月11日(木)発 198,000円
 2004年 2月 5日(木)発・ 3月25日(木)発 225,000円

行程 | ハノイ マイチャウ ハノイ フエ
 ホーチミン市 機中

少数民族「タイ族」が暮らす村を訪問します。田園風景がとても美しく彼らの住む高床式の家々はゆったりとした自然の流れを感じさせてくれます。マイチャウの保育園を訪れて授業風景や子どもたちとのふれあいも予定しています。古都フエでは歴史の重みを感じる阮王宮や郊外に点在する各皇帝の廟を見学して悠久の歴史を感じることができます。

寝台列車で行く高原都市 山岳民族の村サパとハノイ 6日間

2003年11月11日(火)発・12月 9日(火)発 194,000円
 2004年 2月10日(火)発・ 3月25日(木)発 205,000円

行程 | ハノイ 車中 サパ ハノイ 機中

ハノイから北西へ約250km、標高1600mに位置する高原都市サパ。ハノイから寝台列車で約10時間。サパは高地に位置するためベトナムの避暑地として有名です。美しい山々に囲まれた田園風景とサパからもっとも近いカカット村へのハイキング(約3時間)をしてサパの大自然と少数民族の生活にふれてみてはいかがでしょうか。

1泊2日ハロン湾の船旅 世界遺産ハロン湾とハノイの休日 6日間

2003年10月30日(木)~11月 4日(火) 185,000円
 2003年11月11日(火)発・12月 9日(火)発 183,000円
 2004年 2月10日(火)発・ 3月25日(木)発 225,000円

行程 | ハノイ 船中 ハノイ 機中

世界遺産のハロン湾で1泊2日のクルーズ。夕方にはハロン湾の夕陽と船上でのディナー、翌朝には日の出が見られハロン湾の自然の素晴らしさを感動できます。ハロン湾の天候や霧の出具合などに左右されないため1日目と2日目の両方にハロン湾クルーズができる日程です。船内は食堂・トイレ・シャワーが完備。寝室もプライベートが守られている貸切船です。中国から伝わった版画がベトナム風に変化した「ドンホーの版画村」も訪問。素朴な味わいを出しています。

ベトナムと世界遺産のアンコール遺跡をゆったり見学7日間 (ハノイ・シェムリアップ<アンコール遺跡>・ホーチミン市)

2003年11月20日(木)発・12月 9日(火)発 218,000円
 2004年 2月10日(火)発・ 3月25日(木)発 230,000円

行程 | ハノイ シェムリアップ ホーチミン市 機中
 ベトナム航空の新路線ハノイ・シェムリアップ便を利用。世界屈指の文化遺産、アンコール遺跡。「シェムリアップ」に3連泊して遺跡の魅力をじっくりと見学します。

全ツアー添乗員同行。最少催行10名様

マレーシア

政府観光局こんにちは

今回は、熱帯雨林におおわれた他民族、多文化が共存する国、手つかずの大自然の保護やエコ・ツアーに力をいれているマレーシア政府観光局を訪ねて自然の素晴らしさや旅行の楽しみについてお聞きしました。



マレーシア政府観光局

メディアリレーションオフィサー 石田 鬼美香

マレーシアで人気の高い地域はどこでしょうか？

石田：東マレーシアのコタキナバルやクチンなどがエコ・ツアーリズムでは一番人気の高い地域です。

マレーシアのエコ・ツーリズムとは？

石田：専門的な知識がある方ばかりではなく、大自然の中でゆったりしていただいて、自然や動物にふれていただく事が重要と思っています。美しい自然の中だけで、自然の重要性を感じていただける気持ちが生まれてくれば良いと思っています。

マレーシアの世界遺産は何ヶ所あるのでしょうか？

石田：二ヶ所です。キナバル山とムル国立公園です。キナバル山は東南アジアで一番高い山です。もう一つは最後の秘境といわれる標高三三七七mのグナム・ムル国立公園です。どちらも東マレーシア・ボルネオ島にあります。

熱帯雨林を歩いて見学する場合は、事前に植物などの名前を勉強しないといけないですか？

石田：そんな事はありません。国立公園や熱帯雨林を歩く場合は、必ず専門のガイドが同行しなければ入る事ができません。

熱帯雨林もただ歩くだけではただの木々で終わってしまいます。ガイドから木の成り立ちや特性なども詳しく説明してくれます。面白い木があつてスコールが降ると、蟻が木の空洞に逃げ込む事ができるものがあります。その木を振ると鈴のような音がします。そのような自然の驚きなども専門ガイドならではの説明です。

世界的にみても大自然が多い国の一つですね。

石田：自然の中で何日もんびりと過ごして、都会でのストレスを解消する日本人も多くなつてきています。マングローブの中のレストランで夕食をとったり、何もしないで同じ宿泊先で何日も過ごされる方もいます。

熱帯雨林と聞いて暑いイメージが先行しますが、暑さは厳しいですか？

石田：熱帯の国ですから年間を通して日本の夏の気候ですが、熱帯雨林は数多くの木々に覆われ、直射日光が直接あたら

ないので炎天下を歩くイメージではありません。場所によっては洞窟などもあり、自然のクーラーでホットする事もできます。

熱帯雨林森林研究所とは？

石田：クアラルンプール市内から一番近く、太古の森を再現した場所があります。そこに「熱帯雨林研究所」があり、鳥

と同じ視点で観察できるキャノピー・ウォークなども体験できます。また、研究所職員から熱帯雨林の成り立ちや植物の説明などについても詳しくお話しを聞く事ができます。

マレーシアは自然が多いので奥地まで行かなくても大自然にふれる事は可能なんですね。

ホテル・ウォッチングも有名ですね……。

石田：はい。クアラルンプールから約一時間三〇分のクアラ・セランゴールの川に数多くのホテルが生息しています。日本の「源氏ホテル」ほど大きくありませんが、無数にマングローブの木々にとまっています。そこを小船のついでゆっくり静かに三〇〜四〇分見学します。クリスマス・ツリーのような輝きと聞きますが？

石田：そうですね。前に日本から来た方で昼間訪れたら「電線があるのでは」と冗談をいわれたほどの素晴らしい光景です。見学していると回りに水



町中の屋台（カルメ焼き屋さん）

タルが舞う幻想的な雰囲気も体験できる場合もあります。日本のホテルのように点滅はあまりなく、ポワツとした明かりです。ホテルを見学する季節はいつ頃が最適なのでしょうか？

石田：一年中観察できますが、スコールが激しい場合は見られない場合もあります。マレーシア料理はバラエティ一ですね。

石田：他民族国家のマレーシアは食事もマレー、中国、インドをはじめとする多種多様な料理が楽しめます。マレーシア料理と中国料理を融合させた「ニョニヤ料理」はマラッカで有名です。また、屋台も数多くあり、日本では見たことがない食材があつて見ただけでも楽しめます。

ぜひ、自然豊かで他民族・多文化・多彩な魅力のあるマレーシアにお越しください。本日はお忙しい中、ありがとうございました。写真：マレーシア政府観光局提供

アジア 平和・歴史・自然

戦争と平和・真実は何か 1937南京を検証 中国平和の旅 8日間

2003年11月19日(水)発
2003年12月17日(水)発 175,000円
2004年 2月18日(水)発
2004年 3月24日(水)～3月31日(水) 180,000円
行程 上海 紹興 上海 南京 上海

南京大虐殺祈念館見学はもちろん、証言者のお話も伺い、本軍の蛮行を自分の目・耳で、確かめます。紹興へ足をのびし、秋謹の旧居や記念碑を訪れます。断崖絶壁の奇景や紹興酒工場見学&試飲も楽しめます。魅力の上海に滞在して、世界に誇る上海博物館や湖南園の粹、豫園をじっくり見学。上海雑技も楽しみです。

春節(旧暦のお正月)を北京郊外の村で過ごす 春節お祝いと短期ホームステイ 6日間

2004年
1月20日(火)～1月25日(日) 128,000円
行程 北京 韓村河 北京
北京郊外の村「韓村河」に宿泊して農家の方々と爆竹や花火、餃子作りなどをして春節をお祝いします。旧正月ならではの王府井界隈の縁日も楽しみの一つです。日中戦争勃発の地、盧溝橋で抗日記念館を見学して侵略の歴史についても考えます。故宮博物院や万里の長城、頤和園など北京市内の見学も充実しています。

独立運動史と柳寛順の故郷へ 韓国 歴史と平和の旅 5日間

2003年11月11日(火)～11月15日(土) 148,000円
2003年12月 9日(火)～12月13日(土) 148,000円
2004年 3月23日(火)～3月27日(土) 155,000円
行程 利川 ソウル

80年代の教科書問題を機に開館した独立記念館や安重根義士博物館をじっくり見学し、独立運動の歴史と日本軍の蛮行の事実を確かめます。韓国のジャンヌダルク・柳寛順の故郷を訪れ生家や記念廟、独立運動の際に合図として利用したのろし台を訪れます。元慰安婦のハルモニたちが共同生活しているナムムの家を訪れ、日本軍慰安婦歴史館をボランティアの方の案内で見学。

村でごちそうになる餃子



春節のお祝い(韓村河)

全ツアー添乗員同行。最少催行10名様

自然環境と歴史を学ぶ マレーシアの自然とホテル観賞 5日間

2003年12月 9日(火)～12月13日(土) 133,000円
2004年 2月10日(火)～2月14日(土) 143,000円
2004年 3月23日(火)～3月27日(土) 150,000円
行程 クアラルンプール 機中

クアラルンプール近郊の熱帯雨林を訪ねて保存や大自然の魅力などを管理する森林研究所の方々にお話を聞きます。地上30mの高さで鳥の視点にたつて吊橋を歩きながらの散策も楽しみです。マレー鉄道で訪れる古都「マラッカ」でマラッカ海峡やフランスコ・ザビエルも訪れたセントポール教会も見学。クアラルンプール近郊で船に乗って「ほたるウォッチング」。まるでクリスマス・ツリーを思わせるような輝きです。

世界文化遺産を旅する 韓国 歴史浪漫の旅 6日間

2003年11月10日(月)～11月15日(土) 158,000円
2003年12月 8日(月)～12月13日(土) 158,000円
2004年 3月22日(月)～3月27日(土) 165,000円
行程 慶州 儒城 ソウル

新羅一の規模を誇る美しい仏国寺、八萬大蔵經の海印寺、建設美が魅力の宗廟などユネスコ世界遺産を訪ねます。「屋根のない博物館」と称される慶州と儒城に2連泊。古くから温泉地として栄えた儒城温泉で旅の疲れを癒せます。エネルギー首都ソウルで半日フリータイム。伝統的な本場の味も楽しめます。

壮大な古代遺跡・華麗な芸術と文化・世界遺産の町々でいま平和にふれる

LA VITA E BELLA

『平和・映画』の舞台
となった5都市訪問

イタリア

9日間

映画『ローマの休日』
『ライフ・イズ・ビューティフル』
の舞台と中世の町々

石畳と教会、北イタリア
の小さな町々と世界遺産
の素晴らしい町づくり

バルチザンの抵抗の歴史と足跡
を訪ね、アルデアティエーネの洞窟、
ベッキオ橋、カルビの博物館へ

出発日
'03年11月30日: ¥368,000- (10名以上・添乗員同行)
'04年3月21日: ¥後日発表 (3/23 フォッセアルデアティエーネの事件)
'04年5月2日 / '04年7月7日: ¥後日発表 (7/12 にカルビ収容所で銃殺事件)

平和 芸術 歴史 クルメ

日程	朝	昼	夕
1 午前: 成田発A都市線乗車Aローマへ <ローマ泊>	×	機	機
2 午前: 世界遺産見学 / ヴァチカン市国、コロッセオなど 夕刻: 夕食の伝統トスカーナ料理の夕べ <ローマ泊>	○	○	×
3 午前: Tアレツツォへ 午後: 映画『ライフ・イズ・ビューティフル』の舞台を見学 夕刻: 夕食の伝統トスカーナ料理の夕べ <アレツツォ泊>	○	○	○
4 午前: 石造りの古城アレツツォの自由行動 午後: Tトスカナの歴史を堪能 <フィレンツェ泊>	○	×	○
5 午前: 世界遺産歴史地区見学ニドオッコ、フィッツィ美術館 バルチザンが行き交ったベッキオ橋など 午後: 自由行動 <フィレンツェ泊>	○	○	×
6 午前: Bボローニャへ、午前: バルチザン 犠牲者の魂、 世界最古の大学 / 午後: Bカルビ 強制収容所見学 B城塞コルマナと世界遺産の街へ <レガト泊>	○	○	○
7 午前: 世界遺産の古城アレツツォとレジスタンス博物館見学 午後: 自由行動 夕刻: Bミスター・チーの伝説料理 <レガト泊>	○	○	○
8 午前: BAREZZANOへ <レガト泊>	○	機	機
9 午前: A成田帰	機	×	×



平和を題材としたイタリア映画のご案内

【無謀都市】1940年前半の大戦末期のドイツ軍占領下のローマ。ノンフィクションに近い抵抗の映画。レジスタンス活動を続ける男性と、そうとは知らずに接する主人公を取り巻く物語。監督・ロベルト・ロッセリーニ 1945年
【サン☆アレツツォの夜】トスカーナを舞台とし、ドイツ/ファシストの支配下にある村から米戦に助けを求める人々のドラマ。主人公が6才の時起きた出来事を回想する。監督・ピットロ・タヴィアーニ 1982年
【ライフ・イズ・ビューティフル】アレツツォを舞台にユダヤ系イタリア人の運命と恋と収容所で息子との生活をユーモアあふれ、残酷なシーンを出さずに生きることの素晴らしさを表現している。監督主演・ロベルト・ベニーニ 1998年
【バルチザン 対ナチス解放戦線】主人公の学生がバルチザンのグループに入るが…。自己の愛とバルチザンになった理由によりよく気づく。監督・グイド・キエーザ 2000年

魅力いっぱいの内容

◆イラク戦争に数百万人が反対デモを行ったイタリアで、平和の想いも改に戦争と抵抗の足跡を尋ねます。
◆映画『ライフ・イズ・ビューティフル』を初め、多くの平和映画の舞台となった町へ
◆「永遠の都」ローマ、ルネッサンス芸術のフィレンツェ以外にも、オリーブとぶどうの丘と城壁に囲まれたアレツツォ、世界最古の大学とレンガ造りの街ボローニャ、カルビの強制収容所、街自体が世界遺産のレジオ・エミリアを訪ねます。

る。そしてちょっと働く。「こんなイタリアなので、一〇年前にはイタリアはそのうち崩壊すると言われていたようですが、今日ではあくせく働き続けた日本が不況のどん底に陥り、イタリアは元気なのが不思議ですね。ここはイタリアだと思っ

うんですが、案の定僕には目もくれない、女性のお客様ばかりに話し掛けていたなあ(笑い) 小久保: イタリアって本当にそんな世界ですよ。このツアーは午前中歩いて、お昼は全然観光地化されていないレストランで食事をします。フィレンツェやシエナの都会の人間がわざわざ車で足を運んでくるようなレストランなんですが、そんな

ストランでも私たちが行く土地元の人へ出す料理と同様の料理とサービスを提供してくれま

BOOK GUIDE

フランスはなぜ、イラク戦争反対の意思を貫いたのか?

『フランスの空に平和のつるが舞うとき』 私のパシフィスト宣言

柏書房発行 定価1600円+税 2003年7月刊行

1976年10月、労働組合の視察団に同行してフランスに行きました。戦前からの革新自治体サンピエール・デ・コール市を訪問しました。美帆さんと最初にお会いしたのは、市の幹部と懇談していた際に、市長が「日本人の女性と結婚した職員がいる」と夫君のミッシェルを紹介し、懇談後の昼食会に同席された時だったと記憶しています。



1982年の夏、被爆者団体とフランスの平和団体の交流がありました。美帆さんに通訳をお願いしましたが、「ベビーシッターが見つからなかったの、子どもたちをお願い」と言われ、私たちは会場の外で遊んでいました。この時、美帆さんは単なる通訳ではなく、パシフィスト(平和主義者)として、この交流に全力を傾けていたのでしょう。6年あまりの間に大きく変身した彼女に驚きを感じました。

美帆さんの留学、恋愛、結婚、出産、育児、そしてパシフィストへの道を綴ったエッセイをとおり、核兵器廃絶と平和への情熱がひしひしと伝わってきます。

木庭光雄



丘の上の古城を眺めながら歩く(トスカーナ地方)

ネパールの旅

初心者・中高年向け・ロッジに泊るエコトレック
ネパール アンナプルナ・ダウラギリ展望トレッキング

- 10月 8日(水)~10月19日(日) 329,000円
 - 11月12日(水)~11月23日(日) 337,000円
 - 2月 4日(水)~ 2月15日(日) 329,000円
 - 2月25日(水)~ 3月 7日(日) 329,000円
 - 3月21日(日)~ 3月31日(水) 365,000円
- 3月21日出発はアンナプルナ山群のロッジ5泊で11日間
各コースとも定員15名 最低実施人数10名 添乗員同行
羽田空港発着は国内線往復15,000円の追加料金
秋: ネパールの旅へのベストシーズン。写真撮影には最適
春: 山全体がシャクナゲで真っ赤に染まる中を歩く
カトマンズ ~ポカラ ~アンナプルナ山群のロッジ ~カトマンズ 12日間

環境: テント泊りでなくロッジに宿泊。ロッジのかまどやコンロを利用するので薪や石油も最小限で
安全: トレッキング中の最高地点が3200m、宿泊地の最高地点も2750mなので、高山病の影響がありません。添乗員とシェルパ(現地ガイド)が2人つくので、健脚組、ゆったり組の2つのパーティに分けられます。
快適: ロッジにて2人部屋、簡易ベッド、食堂で食事。テントより快適。雨の日でも食堂でネパール人ガイドやポーター、各国のトレッカーとの交流も
ゆったり: ゴレパニに3泊、軽身で3~4時間歩ける方ならご参加できます。
今回の企画にはヒマラヤ(世界最高峰エベレスト)遊覧飛行の代金も含まれております。

「世界の山々をあるく」

写真コンテスト & 旅行披露会のお知らせ

みんなで集まろう!
合同写真交歓会

当社の「ヨーロッパ・アルプス、イタリア・トスカーナウォーキング、ニュージーランドトレッキング、屋久島、利尻・礼文、白神の自然の旅」にご参加された皆様の「写真コンテスト」を実施させていただくことになりました。今年ツアーにご参加された方はもちろん、過去にご参加された方や、自然の旅行にご興味のある方など、どなたでもお越しいただき、楽しい一時をお過ごしいただきたいと思ひます。是非ご参加ください。

写真コンテスト応募要項

サイズ 旅行中、撮影された作品を2Lサイズ2枚まで
郵送期間 9月10日消印で、担当: 小関まで
入賞者発表 当日、ご参加いただいた皆様の審査により発表。写真は当日、会場に展示させていただきます。入賞者上位5名様には素敵な賞品を進呈いたします。

日時 9月27日(土)13:30~16:00

会場 新宿南口 農協会館8F

会費 2,000円(軽食を用意いたします。飲食物持ち込み大歓迎です。)

参加ご希望の方は9月19日までにご連絡ください。大阪の写真交歓会は9月13日を予定しております。

マルクス没後120年

浜林正夫先生と行く(予定)
ロンドン・トリアー・アムステルダム

◆大英博物館をはじめ、バブ「レッド・ライオン」、第一インターナショナルの開催場所や生誕の地、共産党宣言の原稿が展示の資料館など。
◆雇用創出を勝ち取っているオランダの労働組合との懇談・交流など

■11/22~29(8日間)338000円

マルクスゆかりの地とヨーロッパの労働運動を訪ねる旅

—東京学習会議主催ですが、どなたでもご参加いただけます—



「ニュージーランド」自然を満喫する旅に参加して

全日本民医連共済組合 平修

「ニュージーランド南島」全日本民医連共済組合が主催した「ニュージーランドの自然を満喫する旅」に参加した。

一月出発であるから現地の季節は「夏真っ盛り」であるはずだ。經由便で南島の中心都市クライストチャーチからさらに国内線に乗り換え「王女様の住む街」クイーンズタウンへ。信号がひとつもない小さな町だ。この街で「迷子にはなれない」とのガイドの話も聞かす。ここでは、ワカティブ湖を見下ろせる「クイーンズタウンヒル」へ二時間ほどのハイキング。終始木立ちの中の気持ちよいコースだ。いたるところにコースガイドがあり、安心して歩ける。ピークからは周囲の二〇〇〇m前後の山々がくっきりと見渡せる。

「ミルフォードサウンド」遊覧

クイーンズタウンからミルフォードサウンドへ一路バスの旅だ。今夜泊まるテアナウで小休止後、いくつかのポイントの観



光を交えて昼過ぎの遊覧船に乗る。早速「暮の内弁当」で昼食。NZ中どこにいても日本食があることがよくわかる。

年間を通じて雨が多いのが難点とのことだが、ここでも快晴とはいかないがうす曇りなかなさすが世界中から観光客が来ており、NZ随一の人気観光地であることがわかる。波の立たない静かな入り江と切り立った山々を巡るクルージングは心が洗われる。

「マウントクック」へ

この日も快晴。バスでの移動中、運転手の説明を添乗員が通訳。途中ドライブインで昼食休憩後、一路マウントクックを目指す。

程なくドライバーが前方を指し「マウントクックが見える。こんなところから見えることは珍しい」と興奮気味に話す。氷河からの水を一面に貯め、薄い空色に染まったプカキ湖越しにマウントクックが望める場所ではしらの停車。みな初めての対

面に感激

これから三連泊するホテル「ハーミテージ」に無事到着。全員マウントクックが望める部屋で満足。この日OPで氷河遊覧飛行に出かけたのは二名で

参加者の八割もが参加。四五分ほどのフライトだ。小型セスナ機に四人の乗客を乗せ一気に飛び立つ。今日寄ったプカキ湖を後方に山あいに入り山々に接近し、その見事な氷壁を間近に見ながら飛ぶ。マウントクックはビレッジからはひとつのピークに見えるがその横を飛ぶと三つのピークからなっており、一番奥にハイピーク(三七四五m)がある。飛行機はさらに奥のタスマン氷河の真ん中(一八五〇m)にスキーを履かせて着陸。真っ青な青空と白銀の雪山、迫りくる雪崩の跡と氷壁……本当に手の届くところに見える。値段は多少張るがふもどからは決して見ることができない光景に、大きな感動が残る。

「セアリータインズ」(一三〇〇m)へのハイキング

途中、外来種のルピナスの赤、紫色が青空に映える(ただし、繁殖力が強いため原生の植物にいい影響を与えないとのこと。国の手によって駆除されているとのこと)。「ターンズ」とは山の中腹にある池のことだが、ピークには小さな池があり我々の着いたときはちょうど昼食時で、登山道の整備にあたっていた現地の人たちが池で泳いでいた。早速わが



「ニュージーランドの自然を満喫する旅」

グループの何人かが飛び込んでいた。昼食休憩は時間をかけてとつたが、目の前に迫るマウンセフトン(三三二五m)とミユラー氷河に連なる氷壁に圧倒され、その姿に見とれてしまふ。さらにマウントクックの手前には明日出かけるフッカー湖が見渡せる。ホテルのあるビレッジ、プカキ湖も遠くに見える。

「フッカーバレー」への道

このコースは、クック、セフトンなどの氷河を抱く山々と、ミユラー、フッカーの氷河を眺め、さらに高山植物も楽しめる。

第一のつり橋を渡り、多少狭くなった道を歩き続ける。現地ガイドの説明に聞き入り、氷河や地形の成り立ち、高山植物:



右端が筆者

みな聞き入っている。

フッカー湖畔で昼食。湖に氷河の塊が浮かんでおり、裸足になり足を入れただけ我慢できるかやってみたが三〇秒ほどで足を出してしまった。高地を流れる梓川よりもかなり冷たく感じた。ここでもクックを目前にし、至福のときを過ごした。

高山植物との出会い

マウントクックリリーは二本ほど、NZのエーデルワイスもフッカーバレーへの途中第二つり橋の手前で見ることができたし、大きなデージーも見れた。

ホテルとビレッジで

ホテルの部屋での夕食後の時間は、目の前に見えるクックの映りゆく姿を飽くことなく眺めることができる。青空からゆっくりに茜色の空に変わり、クックのピークの右に満月が現れる。薄くなった青い空と白い月、そしてクックが美しい姿を見せてくれる。この時間が二二時頃。もつと日が沈み始めると今度は月明かりの明るさに負けないでサザンクロスもよく見ることができた。

ホテルでは、部屋からも一階

のレストランからも二階のラウンジからも山々が見渡せる。心が洗われるゆつたりとした贅沢なときを過ごすことができる。ここに三連泊する日本人グループはほとんどいないようだ。ツアーの広告を見ても「マウントクック」とはあるものの、途中に

よるだけのものがほとんどだ。三泊もすれば小さなビレッジ周辺を含めくまなく歩くことができる。大変心が豊かになる旅であったと思つた。

ニュージーランドの旅 / タンザニアの旅

憧れのハーミテージホテルに3連泊 ニュージーランド マウントクック ハイキング

11月16日(日)～11月24日(月) 398,000円
2004年
3月28日(日)～4月5日(月) 399,000円
定員20名 最低実施人数15名 成田空港より添乗員同行
機中～クイーンズタウン～テ・アナウ～マウントクック～機中 9日間
標高3000mを超える山々が連なるサザン・アルプス山脈の中で、国を代表する名峰がマウントクック。そのマウントクック麓の村、マウントクック・ハーミテージ・ホテル(通常では1泊することすら難しいとされています。それ程のサービス、山の眺望、景観を誇る有名なホテルです。今回は特別に全員山側のお部屋をご用意いたしました)に三連泊し、山と花をゆっくりお楽しみいただきます。マウントクックでハイキングされない方も添乗員や現地ガイドがご案内する想い想いのプランで楽しめます。山々が氷河によって削られた奥深い入り江、フィヨルド。日帰り旅行でその壮大な眺めを遊覧船から見学します。テ・アナウでは洞窟内を渡し船で進み、青白い光を放つ神秘的なツチポタルを見学します。東京・成田空港、大阪・関西空港、名古屋空港、福岡空港から同日発着。のんびり滞在型の9日間。中高年や家族連れでも安心して楽しめる旅。

はてしなく続く大地、大自然のままに生息する数多くの動物たち、そして人類発祥の地。ベストシーズンに訪ねる タンザニア・サファリの旅

Aコース 2004年1月4日(日)～1月13日(火)
Bコース 2004年1月25日(日)～2月3日(火)
Cコース 2004年2月8日(日)～2月17日(火)
9泊10日 費用:578,000円 定員各18名(最低実施15名)
機 国境の町アリユシャ タランギレ ンゴロンゴロ セレンゲテ
イ ナイロビ 機
*1月～2月はタンザニアのベストシーズン。100万頭以上のヌーの群れとそれを追う動物が集結します。
*タンザニアで最も動物相の豊かなセレンゲテ国立公園、世界第二の大噴火口に豊かな生態系があるンゴロンゴロ自然保護区。二つの世界遺産に各2泊し、じっくりまわります。
*人類発祥の地オールドヴァイ深谷と博物館を見学。
*故小倉寛太郎さんが深く信頼した現地ガイド永松真紀さんが全線同行。元ケニア国立公園長官も同行。動物の生態や自然保護について詳しく解説していただきながらのサファリ・ドライブです。



- アフリカの集い - 「アフリカの今、そしてアフリカから見えてくる日本」

日時 9月15日(祝)午後2時～4時
場所 (株)富士国際旅行社
内容 ケニア在住のライター早川千晶さんによるスライド&トークショー
定員 40名
会費 500円(学生300円)
お申し込みは担当・大西まで

早川千晶(はやかわちあき)さん
<プロフィール>
1966年福岡生まれ。1990年にケニアに移住、NGO代表、ライターとして活躍。ナイロビ最大のスラム・キベラにて、スラム住民たちと小学校、図書館作り、助け合いグループ活動、リサイクル運動などを手掛けている。「ウペボ～アフリカの風ネットワーク」発起人。著書に「アフリカ日和」(旅行人)共著に「輝きがある。～世界の笑顔に出会う瞬間(とき)」(出版文化社)がある。

海外通信 エジプト

「平安あれ」

松下みゆき

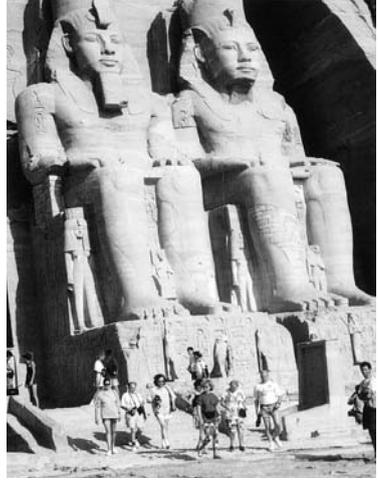


「エジプト?」私が、勤めていた大手の経済誌出版社を辞めてエジプトに住みたいと言ったとき、周りの全員が驚いた。母親は、アフリカ大陸、黒人、裸で槍を持っている人たちと早合点して、腰を抜かしそつになり、父親は、これはちょっととした冗談だと思おうと努力して平静を装っていた。親元を離れたこともなかった。毎日の仕事や遊びに満足していたとき、突然ぶと空から降ってきたような思いつきだだった。そう思ったらその時点でもう決断を下していた。状況なんてあとからついてくる。会社に辞表を出し、引継ぎを済ませると、エジプトに飛んだ。

「エジプト?」私が、勤めていた大手の経済誌出版社を辞めてエジプトに住みたいと言ったとき、周りの全員が驚いた。母親は、アフリカ大陸、黒人、裸で槍を持っている人たちと早合点して、腰を抜かしそつになり、父親は、これはちょっととした冗談だと思おうと努力して平静を装っていた。親元を離れたこともなかった。毎日の仕事や遊びに満足していたとき、突然ぶと空から降ってきたような思いつきだだった。そう思ったらその時点でもう決断を下していた。状況なんてあとからついてくる。会社に辞表を出し、引継ぎを済ませると、エジプトに飛んだ。



おみやげ屋(カイロ)



アブシンベル神殿

ハエがぶぶんぶん飛んでいる。エジプトパン(アイーシユ)の中に挟んだフルーツとターメリヤ(豆)のサンドイッチ。ハエが留まったサンドイッチをハエごと食べる勢いだ。道端の壺に入れてある生水をぐいぐい飲む。エジプトがまるごと体に入ってくる。お節介で親切で、うるさくてしつこくて、気が短くて単純で、陽気なエジプト人は、全然恥ずかしがらないで、鼻の穴を大開きにしてこう言うのだ。「アイラブジャバーン!」そして、「今は、お金がないし仕事がないけど、日本は俺のドリームさ。」

なんで街頭でペンキを塗っている人は自分の顔にも同じ色のペンキを塗って作業しているのか。なんで家庭用洗剤の種類について数人の男たちが唾を飛ば

しあつて議論しているのか。なんで原付のバイクに五人家族全員が乗って、みんな結構誇らしげな顔をしているのか。なんでタクシの運転手が実は免許をもっていないとそつと私に打ち明けるのか。かなり奇抜なコメディなのだ。「人生」が笑いながら走っている。

マールッシュ(気にするな)。彼らはごく自然に許しあう。インシアラー(神が許し給うたならば)。彼らは神を内にもつ。お茶屋で燻らせる水たばこの煙の先に、今日がゆつくりと吸い込まれていく。アッサラムアレイコム(平安あれ)。

BOOK GUIDE

『豊かさの条件』 暉峻淑子著 岩波新書 2003年5月発行

著者は、14年前『豊かさとは何か』(岩波新書)で、1989年パブルの絶頂期に「カネとモノがあふれる世界一金持ちの国・日本」の「特異な豊かさ」への疑問を投げかけた。



経済大国日本には「強者だけの豊かさ」はあるが、国民の生活の豊かさに結びついていないことをドイツとの対比で書き明かしてくれた。

パブルが崩壊し、不況のどん底にある今、雇用、労働、社会保障、教育などの面でも、国民の生活は極端に悪化している。昨年まで5年間連続で3万人をこえる自殺者がでており、経済・生活問題からの自殺者が7940人で、交通事故の死者8326人に並ぶ数に達している日本は危機的な状況にある。

松下みゆき・略歴
生まれは大府校方市。年齢はご想像にまかせます。エジプトには1992年から住み始め、旅行社のガイド・社員を勤め現在に至る。趣味は映画鑑賞。

悠久の歴史と3泊4日デラックス・ナイル川クルーズ

古代エジプト ナイル川紀行とイスタンブール 10日



人類5千年の歴史を辿って古代エジプトの世界へ。科学に裏づけされた巨大な建築その魅力に触れる
5ツ星デラックスクルーズ「セミラミス」号で3泊4日のナイル川クルーズ。船酔いもなく、広々としたホテルと同様の快適なお部屋でゆったりと過ごす。ガラベーパーティもお楽しみいただけます。
帰路、トルコの首都イスタンブール観光。オスマン帝国の栄華に触れる

2003年12月19日～28日 372,000円
2004年 1月 9日～18日 315,000円
定員20名(最低実施15名) 日本より添乗員同行

大阪・東京発イスタンブール経由エジプトへ。 深夜カイロ着	(カイロ泊)
終日カイロ市内見学。モハメドアリ・モスク、ハンハリーバザール、考古学博物館など	(カイロ泊)
5 空路、アブシンベルへ。カルナック神殿見学。 5 空路、アスワンへ。アスワンハイダム、切りかけのオベリスクなど見学。 夕刻はファルーカ(小帆船)乗り。	(アスワン泊)
午前中はゆったり。 昼からクルーズ船に乗船。すべてのお部屋は川に面しています。 広くて開放的なお部屋です。バス・トイレ付。ナイルを下り、コム・オンボ神殿見学。 夜は船内でガラベーパーティをお楽しみください。	(船中泊)
エドフでホルス神殿見学。 夜は民族音楽と踊りを	(船中泊)
ルクソール着。かつては「テーベ」と呼ばれた古代エジプトの都見学。 メムノンの巨像、王家の谷、ハトシェプト女王葬祭殿、王妃の谷。 午後は東岸のカルナック神殿、ルクソール神殿見学	(船中泊)
朝食後、船をチェックアウト。ルクソール博物館見学後、馬車で市内へ。 午後のお茶を楽しんだあと、空路、再びカイロへ。	(カイロ泊)
終日：ギザ地区のピラミッド、スフィンクス見学。 午後は散策、お買い物など。	(カイロ泊)
5 早朝、空路イスタンブールへ。着後、イスタンブール市内見学。 アヤソフィア寺院、トプカピ宮殿の宝物館など。 夕刻：イスタンブール発	(機中泊)
5 午前：東京・成田着。5 大阪着。	



エジプト

5000年の歴史の流れをみえてきた古代遺跡、現代人をも驚かす当時の天文学、ナイルとともに生きてきたエジプトの歴史と文化に触れる
アスワンからルクソールの間にはエスナ、エドフ、コム・オンボなど興味深い遺跡が点在している。陸路で行くには困難なこれらの遺跡をナイルクルーズが可能にします。

- 3泊4日のナイルクルーズ 「セミラミス号」
- 5つのデッキ
- 客室は66室、ゆったりしたホテル並の室内。各室バスタブ・ヘアドライヤー・トイレ付。全室ナイル川に面し、パノラマビューの大きな窓。
- キャプテン歓迎、ガラビアパーティの開かれる大レストラン、広くて豪華なラウンジ、ギフトショップあり。
- スイミングプール、ジャグジー、図書室、バーのあるサンデッキ
- ベストシーズンに行くエジプトの旅
- エジプトは南にゆくほど暑くなる。特にアスワン、ルクソールは冬でも日中は最高28～30度にもなる。ラムダーンの明けの12月から砂漠の砂嵐が始まる3月中旬くらいまでが快適な旅を楽しめます。
- 寝ている間に次の目的地へ、クルーズでゆったりとナイル川を移動。冬は川の水量が下がるので揺れもほとんどない快適な船の旅。
- おみやげ
- スカラベの置物、アラバスターの細工品、ヒエログリフや壁画をあしらったTシャツ、カラフルな民族衣装など。スーク(市場)でのお買い物は買い手と売り手の口八丁手八丁で値段が決まる。
- エジプト料理

羊肉から鳩の丸焼きまでイスラム教国ならではのお料理がある。今では日本でもおなじみになったモロヘイヤを使ったスープ、エジプト風クロッカのターメリヤ、肉の串焼きのケバブ、ソラ豆を煮込んだフルルというスープ、ごまから作るペスト・タヒーナなど。

イスタンブール

迷宮の都イスタンブール
アジアとヨーロッパのふたつの大陸にまたがり、その中心を貫くボスボラス海峡。イスタンブールはかつてローマ帝国、ビザンチン帝国、オスマン帝国と三代続いた大帝国の首都。その都のもつ魅力はエキゾチックで街も人も活気に溢れた奥の深い都。オスマン帝国のスルタンの居城であったトプカピ宮殿を見学。世界三大料理のひとつトルコ料理。宮廷料理レストランから庶民的レストラン・ロカントまで多様。やはり羊肉中心だが、魚介料理も豊富。肉料理よりも高め。屋台ではキョフテという羊肉の団子や魚のフライを挟んだサンドイッチを売っている。特徴的なことはお菓子の種類が豊富なこと。並の甘さではない、トルコのアイスクリームはガムのようにのびるので有名。味を試してみたい。ヨーグルト、トルコの紅茶は小さな容器で飲む。



小さな自治体での街づくり視察 **福祉** **子育て支援** **環境** **デンマーク ニューケビン市 街づくり視察8日間**

<コースの概要>

デンマークの小さな町で、自治体の福祉・子育て支援・環境などの政策をホイスコーレ(国民高等学校)で学びます。首都コペンハーゲンから南西に約130km、ファルスター島の中心地ニューケビン市(人口約25,000人)を訪れます。
『正確に学び、日本との違いを見据え、日本で本当に必要なものは何か』を理解する事を目的として、デンマークのフォルケホイスコーレ*の基本理念に基づき、学習します。

ご宿泊は1849年に建てられた古い貴族の館(全寮制)を利用し、食事代金の料金となっています。

(6日目は除きます。)

講師は、現地で長年福祉の仕事をされ、何回も日本からの要請で福祉講演を行ない、また日本の高齢者福祉施設などの建設に福祉コンサルタントとしてアドバイスをしてきた経験をもつ方々が説明します。

*フォルケホイスコーレ：デンマークの成人教育(生涯学習)の施設で1844年農村青年の教育を目的にグレントヴィの提唱によって設立されました。特徴は、原則として18歳以上であれば性別、年齢、職業、国籍を問わず、無試験で入学できます。また、特徴として寄宿制で、昼間は学校、夜は宿舎で生活します。講義の最後に終了書が渡されます。

旅行期間：11月16日(日)～23日(日)
旅行費用：373,000円

特徴

豊富な学習内容
・簡単なデンマーク語教室
・デンマーク福祉政策のレクチャー
・ニューケビン市の福祉環境政策について
・ニューケビン市の障害者政策について
視察先は、(県立)補助器具センター
・高齢者住宅 ・在宅ケア ・プライエム
・障害者乗馬学校
・ソーシャルヘルス学校(ヘルパー養成学校)
・保育園 ・リサイクルセンター 等
参加人員を12名までといたします。
(最低実施10名様以上)
現地係員がお世話します。
6日目は、コペンハーゲン市内見学と半日の自由行動となります。(ホテルにご宿泊)



コペンハーゲン

日程表

月日(曜日)	日 程	<宿泊>	食事
11月16日(日)	航空機で成田空港発、デンマーク・コペンハーゲンへ 空港からバスで約1時間30分、ニューケビン市へ (視察の簡単な説明)	<ニューケビン泊>	機 機
11月17日(月)	午前：簡単なデンマーク語教室および(県立)補助器具センター見学 午後：デンマーク福祉政策のレクチャー	<ニューケビン泊>	B L D
11月18日(火)	午前：市役所で市の福祉・環境政策のレクチャーおよび市の議会場など見学 午後：高齢者住宅(1)およびリサイクルセンター見学	<ニューケビン泊>	B L D
11月19日(水)	午前：在宅ケアと施設ケア(プライエム)見学 午後：市の障害者福祉政策のレクチャーおよび障害者乗馬学校見学	<ニューケビン泊>	B L D
11月20日(木)	午前：ソーシャル・ヘルス学校(ヘルパー養成学校)見学及び懇談 午後：子育て支援関連施設見学(学童保育または保育園など) 夕刻：総まとめ(終了書授与)	<ニューケビン泊>	B L D
11月21日(金)	午前：コペンハーゲン市内見学=人魚姫の像、ニューハウなど 午後：自由行動	<コペンハーゲン泊>	B
11月22日(土)	空路、帰国の途へ	<機中泊>	B 機
11月23日(日)	午前：成田空港着		機

(1)自治体が国の援助金を受け、新築(または改築)した住宅で、援助があれば、自宅で自立生活できる70歳以上の高齢者を対象にしている住宅。現在デンマーク全国で約17,000戸。
食事：B=朝食 L=昼食 D=夕食 機=機内食(施設の都合で見学が前後する場合があります。)

イベントコーナー

第12回 全国地域ケア研究交流集会 【地域ケア】の『質』を問う

安心して働きたい ～地域の利用者の生活を守るために～

主催：第12回全国地域ケア研究交流集会 実行委員会
地域ケアネットワーク・こむ 会長：木戸利秋
後援：大田区社会福祉士会 大田在宅ケアネット

介護保険制度に続く、障害者支援費制度の実施により、全国の地域ケアの現場は大きく様変わりし、今改めて、地域ケアの「質」が問われています。

この間の大きな問題点一つとしてあげられるのが、地域ケアに携わるスタッフ等の勤務条件の悪さです。地域の利用者の生活を守るためにも、安心してスタッフが働き続けることのできる状態を全国で作り上げることが重要ではないでしょうか。利用者本位の地域ケアを作り上げるために、全国の仲間と研究交流しましょう。ぜひ多くの方の参加をお待ちしています。

日時：10月19日(日)

午前9:30受付開始 10:00開会 16:30まで

場所：東京都大田区「大田文化の森」

東京都大田区中央2-10-1 Tel.03-3772-0700

事前申込参加費：3,500円(資料代含む)当日：4,000円

(障害者の付き添い、各種通訳の方は無料)

定員：250名

《日程》

*全体講演会(10:00～12:00)

～介護現場の医療行為と労働条件～どこがどう違う「デンマークVS日本」

講演者：ユッテ・ニコライセン(デンマーク社会介護・保健アシスタント)

小野寺綾子(デンマーク在住13年、日本語教師)

*実践講座及び7分科会(13:00～16:30)

《連絡先》

「地域ケアネットワーク・こむ」

Tel.025-269-7457 fax.025-269-1571 <毎週木曜日のみ>

渡辺潤(集会事務局) <木曜日以外>

携帯.070-6194-0446またはメールjun-wb@jcom.home.ne.jp

福祉・環境の旅

ヨーロッパの社会福祉をみる **オランダ・スウェーデン福祉の旅**

定員12名様

1月7日(水)～1月14日(水)8日間 337,000円

2月11日(水)～2月18日(水)8日間 337,000円

3月24日(水)～3月31日(水)8日間 353,000円

ユトレヒトにあるオランダ福祉介護協会を視察します。高齢者介護保障のシステムや子育て支援について学びます。

南スウェーデン、ハルムスタッド市を訪問。

*スウェーデン高齢者、障害者福祉の現状

*痴呆高齢者ケアプログラムと地域リハビリ

*障害者の目線でバリアフリーの街並みを見学します。

成田発、アムステルダムへ

<アムステルダム3泊>

午前：アムステルダム市内見学=アンネフランクの隠れ家など 午後：自由行動

終日：オランダ福祉視察(オランダ福祉介護協会・子育て支援施設見学)

午後：空路、コペンハーゲン経由で南ス

ウェーデンの都市、ハルムスタッド(人口約9万人)へ<ハルムスタッド3泊>

午前：バリアフリーの街並み見学(バス乗場、銀行、ゴルフ場など)午後：自由行動

終日：ハルムスタッド高齢者・障害者福祉視察(サービスハウスやグループホームの運営や施策など担当者から聞きます)

列車でコペンハーゲンへ空路、帰国の途へ<機中泊>

成田着



ハルムスタッド

新しいエネルギーと環境政策を学ぶ **スウェーデン・ドイツ環境視察の旅**

定員12名様

11月19日(水)～11月26日(水)8日間 368,000円

スウェーデン第二の都市イエテボリで「人も自然と共に暮らしながら持続する社会」を実現する、様々な取り組みを見学します。

「環境に配慮すること」を企業理念とするボルボ本社を訪問し、自然環境との調和を考えた企業活動を視察。

ドイツ南部「環境首都」フライブルグを訪ね、住民参加の環境政策(交通政策やリサイクルなど)を学びます。

ドイツ(フライブルグ)中小企業を訪問。

成田発、スウェーデン第二の都市イエテボリへ

<イエテボリ3泊>

終日：イエテボリ環境視察1(スウェーデンの環境政策についてのレクチャー・ボルボ本社見学)

終日：イエテボリ環境視察2(商店街での環境政策、保育園見学)空路、ドイツへ 列車で「環境首都」フライブルグへ

<フライブルグ3泊>

終日：自由行動 e : 「環境定期券」を利用して交通政策を見学

終日：フライブルグ環境視察(市担当者によるレクチャー、環境教育センター、地元企業見学)

空路、帰国の途へ <機中泊> 東京・成田着



フライブルグ・エコセンター

いい旅
いい仲間
いい出会い

親子、孫、友人、そして

世代をつなぐふれあいの旅

今年三月、三上満さんをはじめとする平均年齢六八才の年配世代一九人と平和と国際交流をめぐす学生・青年のグループ、平均年齢二二歳のコースネット一〇人が「世代をつないで行くメキシコ・コスタリカの旅」に参加されました。報告集から三上さんの巻頭の言葉の一部を紹介いたします。

「この旅には、他にないひとつの特色がありました。それは「世代をつなぐ」旅であったということです。はじめはその意味が私にもよく分かりませんでした。その意味が実感できたのは帰りのメキシコ空港へ向かうバスの中でした。若い人たちのうち半分の方が延泊になりました。何か急に淋しさがおそってきたのです。もちろん一緒に

帰った若者も、すばらしい人たちです。でもなぜか若者がへつて淋しくなってきたのです。

『もしもこの地球に子どもたちがいなくなったら、それはつまりまらぬ土くれとなるでしょう。』ある詩人はこう歌っています。

この旅は、若い人たちと一緒にいることがどんなにいいことか、実感させてくれる旅だったのです。その行動力、向上心、学ぶ意識、年寄り(?)たちへの優しさ、みんな目を見張るものでした。若い人たちへの信頼と希望、そして若さがプレゼントしてくれた生きる喜び。それがこの旅の大きな収穫でした。

若い人たちにとっても、この旅は人生の経験のしみこんだ、まんならでもない人たちと交流し、『魅力的に生きる』という

人生のテーマを与えられた旅だっただろうと思っっています。

『知識を得るためには、国々をめぐり歩くだけでは十分ではない。旅のしかたを心得ていなければならぬ』。ルソーの『エミール』の中の一節です。私たちは、いい旅のしかたをしたと思います。



少年犯罪の頻発や人と人のつながりの希薄さなどが、大きな社会問題となっています。けれど、平和と民主主義のために青春と生涯をかけて頑張ってきた経験豊かな世代が存在し、イラク戦争に反対する多彩な運動に見られる新しい世代の確実な成長も生まれています。

そんな世代をつなぎ、仲間同士で、そして親子、孫と一緒に、いい旅をつくってみませんか。すばらしい体験を共有し、新しい何かを発見し、明日への糧を与えてくれる旅をしませんか。

Vietnam
ベトナム
ホーチミン市
ビン・タイ市場

TRAVEL EYES
あんなトコロ
コンナところ



ホーチミンでベン・タインの次に大きい市場です。二〇世紀の初めにチヨロンの華僑の有力者によって造られました。市場は回廊式になっていて、一階は台所用品などの日用品を扱い、二階は化粧品などの雑貨が売られています。一坪ほどの小ケースに、びっしりと商品が並べられ、それが一軒の



独立した商店になっています。通路は狭く、逆行しよつとして押し流され、元の店に戻るための混雑ぶりです。働いているのはほとんど女性。男性は商品の運搬をしなければ、近

は回廊式になっていて、一階は台所用品などの日用品を扱い、二階は化粧品などの雑貨が売られています。一坪ほどの小ケースに、びっしりと商品が並べられ、それが一軒の

くの喫茶店でお茶を飲んでいるか、ベトナム将棋にふけっているか、あるいは昼寝をしているかのいずれかでしょう。

食料品は建物の両サイドにあります。はじめて見るような野菜や果物、穀類、香辛料、その場で切り売りされる肉類、カラフルに並べられています。中庭は広場になっていて、その回りには屋台のうどん屋、喫茶が並んでいます。活気にみちた売り子の声、粘って値切る客の声、その喧騒が一日中市場全体に鳴り響いています。庶民パワーにあふれる市場を訪ねてみませんか！

木庭光雄

ふれあいと交流、対話の旅

三上満さんとコースネット世代をつないで行く旅第2弾
ベトナム 平和と交流の旅

12月22日(月)~30日(火) 8泊9日
費用：一般 245,000円
学生・コースネット会員 172,000円
(一般とは宿舍など異なります)
定員：35名(最低実施人員25名)
ホーチミン ダナン・ホイアン ハノイ ハロン湾 ハノイ

*ホーチミンでは「戦争犯罪博物館」やクチのトンネルをじっくりと見学。ベトナム戦争当時、最大の米軍基地の置かれた町ダナンを訪問。ハノイでは枯葉剤の被害に苦しみながらも、賢明にリハビリに励む子どもたちの施設「平和村」で交流。ボランティアや子どもたちとのふれあい、施設責任者などとのシンポジウムを予定。アメリカによる戦争、そして21世紀と平和を一緒に考えます。

*ベトナム人宅への家庭訪問とホームステイ、ベトナム人青年やアオザイデザイナーとの交流とファッションショー、農村の伝統芸能「水上人形劇」鑑賞など、「ドイモイ」政策のもと民族的な伝統、文化を大事に、明るく国づくりに励むベトナムの人たちと交流。新聞特派員との懇談も予定。

*ベトナム人民支援連帯に青春を燃やした世代と21世紀を担う世代。二つの世代が同じベトナムを見、21世紀の日本と世界、人生を考える。時間をとった「しゃべり場」で色んな思いをじっくり交換。

3つの戦争と21世紀を考える
世代をつなぐ旅 信州発ベトナムへ

12月13日(土)~21日(日) 8泊9日
費用：一般 248,000円
学生・青年 159,000円
(一般とは宿舍など異なります)
定員：30名(最低実施人員20名)
ホーチミン ハノイ ハロン湾 ハノイ

*アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会幹部で、青年問題の著作も多数ある長野の弁護士・毛利正道さんと9・11の同時多発テロ後結成された「信州からPEACEネット」の青年たちが中心に呼びかけ、企画しています。

*第二次世界大戦の時に日本軍のベトナム進駐がもたらした「200万人餓死事件」、いまもつづくベトナム戦争の被害、そしてイラク戦争。3つの戦争を一緒に考え、平和な21世紀と日本を信州から考える旅です。

*ホーチミン市で諸国民連帯委員会とも交流予定。

写真家・小松健一さん同行 南オーストラリアの旅
親子、孫で行く ふれあいのカンガルー島

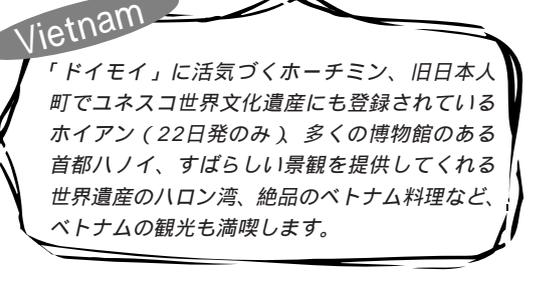
2004年3月27日(土)から4月3日(土) 7泊8日
費用：一般 368,000円 高校生以下 308,000円
定員：10家族25名(最低実施8家族16名)
機 アデレード カンガルー島 アデレード 機

*南オーストラリアカンガルー島は、アデレードの南約113キロに浮かぶオーストラリア3番目に大きな島。島内には野生のカンガルー、コアラ、アシカ、ペンギン、ワラビー、ペリカン、カモノハシなど、多数の動物たちが野生のままに保護され、大自然の中で生息。世界で唯一野生のアシカをそばに近寄ってみることも出来ます。

*自然や野生動物たちと一緒に、あの南十字星を堪能できるのもカンガルー島。島には公共交通機関もありません。そんなお伽の国のような景観、ファンタジックでワイルドな自然と動物の島で、家族のふれあいの時間を大切にします。じっくりと親子、そしてお孫さんとの会話や遊びを楽しんでみませんか。

*アデレードは「一度は住んでみたい」と言われる町。こじんまりした街並みと緑あふれる公園。無料の公共バスも走り、博物館、美術館のほとんど無料。治安も良く、家族のふれあいを大事にしながら散歩、ショッピングを。

*今回の旅には、「人に優しい眼差しを持つ写真家」小松健一さんが同行。ご家族の旅行中のベストショットを1枚、特別にプレゼントします。いま、この時しかない家族の思い出を、プロの写真家に切り取ってもらいませんか。



現役教員の方など、ハノイ部分だけの参加も歓迎します。

小グループ・家族・個人旅行 安心の旅づくり

ゆったり・のんびり マイペースで旅をしたい。そんな方向けの安心旅。
移動も鉄道の旅や途中の街での観光も楽しめる定期バスを組み合わせるあなただけの旅を。

～ 三 一 回 ツ 八 編 ～

10月から4月上旬までヨーロッパは航空運賃が安くなってくるオフシーズンです。オペラやミュージカル、クラシックコンサートなどはオンシーズン、長い夜でも楽しみがあります。例えば6日間を1～2都市の滞在して、昼は時間をかけた美術館・博物館めぐりと観光、夜は観劇へとこの時期ならではのゆったりとした旅をしてみたいかでしょうか。ホテルは9、10月は見本市やサロンなどがあり、ホテル代は高くなる期間もあります。また、二人以上で旅するほうが経済的、安心。早めに調べて、上手に組み合わせましょう。

ヨーロッパ版 例え 都市間定期観光バス

イタリア ルート1 ルネッサンスが花開いたトスカーナを走る

毎週 月・水・金・日 発
フィレンツェ08:00発 サンジミニャーノ(1時間)
シエナ(3時間半) ローマ17:45着
毎週 月・火・木・土 発
ローマ08:00発 アッシジ(3時間半) フィレンツェ17:30着



イタリア ルート2 アドリア海と銀嶺が育む北の顔と南の顔へ

毎週 火・木・日 発
ベネチア08:00発 サンマリノ(3時間)
フィレンツェ18:00着
毎週 月・水・土 発
フィレンツェ08:00発 サンマリノ(3時間)
ベネチア18:00着



フィレンツェ

イタリア ルート3 イタリア最大の田園地帯を行く

毎日発
ミラノ08:00発 ベローナ(1時間) ベネチア12:30着
毎日発
ベネチア14:00発 ヴェローナ(1時間) ミラノ18:30着

スペイン ルート1 雄大な山脈を仰ぎ街から街へ

毎週 水・日 発 セビリア09:00発 コルドバ(3時間半) グラナダ17:30着

スペイン ルート2 一面のオリーブ畑に浮かび上がる白い家並み

コルドバ駅11:00集合 メスキータ、花の小道観光。
コルドバ14:30発 グラナダ17:30着

スペイン ルート3 イスラム文化と地中海にアンダルシアの光と影を堪能

グラナダ09:00集合。アルハンブラ宮殿、ヘネラリーフェ(庭園)を観光。グラナダ11:30発 ミハス(2時間45分) マルベールア17:30着



アルハンブラ宮殿

スペイン ルート4 地中海ならではの爽やかなビーチリゾート

マルベリャ09:00発 ロンダ(2時間) セビリア13:30着
(以上 主催ユーロ・エクスプレス)

ヨーロッパ鉄道セレクション

丘に広がるワイン畑。氷河を抱く山並み、中世そのままの教会と町並、車窓をそのまま額縁にして動く風景画のよう。スピード感いっぱいの車体、飛行機なみのサービスがご自慢の各国プレミアムトレインの旅をお楽しみください。

ユーロスター ドーバー海峡をかける国際高速列車

ロンドン・パリ間約4時間。ロンドン・ブリュッセル間約1時間40分



タリス 鮮やかなワインレッドの洗練された高速列車

パリ・ブリュッセル間約1時間25分。
ブリュッセル・アムステルダム間2時間40分



タリス

イーエスター イタリア全土をネットワークする高速列車

北部のトリノ、ミラノ、フィレンツェ、ローマ、最南端のレジョデカラブリアを結んでいます。

ローマ・フィレンツェ間約1時間35分
ローマ・ベネチア・サンタルチア駅間約4時間30分
フィレンツェ・ミラノ間約2時間50分
フィレンツェ・ベネチア・サンタルチア駅間2時間40分



イーエスター

ドイツ・中欧人気の区間乗車券 インターシティ/ユーロシティ

ミュンヘン・ザルツブルク間2時間弱。ミュンヘン・ウィーン間5時間弱。
ミュンヘン・チューリッヒ間4時間13分。ウィーン・プラハ間4時間25分。
ウィーン・ブダペスト間約2時間30分。プラハ・ブダペスト間6時間45分

ヨーロッパ各地の夜の移動に便利な「ユーロナイト」

寝台、クシット(簡易寝台)、座席で編成されている。ドイツ、ポルトガル、イタリア、フランス、オーストリアの都市を結ぶ。例えば、フランスのパリからドイツ・ベルリンやハンブルクへアクセスする国際夜行列車。眠っている間に移動できる効率のよさ、設備の充実している元祖ホテルトレインです。予約と発券は日本出発前にすませましょう。



こんなことができます。

- 格安航空券手配 訪問都市に応じて最も経済的に
- ホテル手配 ご予算、立地条件、快適性など
- 現地発の日本語観光バス紹介
- 現地ガイド、通訳、空港までの送迎、車の手配。夜おそい空港着のときなどは特に安心。
- コンサートやオペラ、ミュージカルなど音楽会のチケット、イタリアサッカー試合の切符手配
- 鉄道バス、国別・都市別バスの手配

音楽・映画の舞台・芸術にふれる旅

ドイツ、チェコ、オーストリア 第23回「第九」をきく音楽の旅9日間

2003年12月29日(月)～2004年1月6日(火) 455,000円
定員25名(最低実施人数20名) 日本より添乗員同行
毎年恒例、年末のヨーロッパ
ベルリンで「第九」、プラハでニューイヤーコンサートをライブチック、プラハ、ウィーンで音楽家縁の地を巡る
大阪・名古屋・札幌5 東京・成田発5 コペンハーゲン経由ベルリンへ(泊) 午前ベルリン市内見学=連邦議事堂、ウンターデンリンデン通り、ブランデンブルク門など 午後:6 第二次大戦後処理の話し合われたポツダムへ。ツェツェーリエンホフ宮殿見学。夜:コンツェルトハウスでベートーベンの「第九」コンサート 6 ザクセン地方ライブチックへ。歴史あるワインケラー「アウエルバッハ」で昼食、午後:ライブチック市内見学。バッハ緑の聖トーマス教会、メンデルスゾーンの家など。夜、大晦日ディナー(泊) 6 文化都市ドレスデンへ。ツピンガー宮殿(外から)、エルベ川のテラスなど小観光7 国境を越えてチェコへ。午後:プラハ着。夜、スメタナホールでのニューイヤーコンサート(プラハ泊) 午前プラハ市内見学。聖ピート教会、カレル橋、旧市街など。午後:自由行動。(泊) プラハ発バス又は列車でオーストリア・ウィーンへ。午後:自由行動。夜 e オペラ、オペレッタ(ウィーン泊) 午前:ウィーン市内見学。ホーフブルク(入場) 市立公園、リンクなど。午後:自由行動。e 夜:オペラ、オペレッタ、ミュージカルを(泊) 午前ウィーン発5 コペンハーゲン経由(機中泊) 午前:東京・成田着5 大阪・名古屋・札幌

ポーランド・アウシュビッツへの旅9日

2003年 9月20日～ 9月28日 332,000円
2003年10月11日～ 10月19日 318,000円
2003年11月 8日～ 11月16日 298,000円
2004年 1月10日～ 1月18日 340,000円
2004年 3月13日～ 3月21日 340,000円
6名から実施。現地日本語ガイド係員がご案内。10名以上で日本より添乗員同行。
映画「戦場のピアニスト」「灰の記憶」の舞台、アウシュビッツへ。生存者の方との懇談、丸2日間かけての見学。
ユネスコ世界遺産・古都クラクフとワルシャワの旧市街へワルシャワでショパンピアノコンサート、希望者は17世紀のピラヌフ宮殿へ。
ワルシャワ3泊、クラクフ3泊、ワルシャワ1泊、機中1泊のゆったり旅
ホテルは4ツ星クラス。オーストリア航空、スカンジナビア航空利用予定



ビルケナウ収容所

建都300年のサンクト・ペテルブルグとモスクワ 「冬の芸術祭」ロシアの旅 8日間

2004年1月 4日(日)～1月11日(日) 347,000円
2004年1月11日(日)～1月18日(日) 347,000円
募集定員各25人(最少催行人員15人)
東京・成田空港発 空路ロシアの首都モスクワへ。夜はバレエ・オペラなど鑑賞(モスクワ2泊) 夜行寝台列車でサンクト・ペテルブルグへ(車中泊) サンクト・ペテルブルグでバレエ・オペラなど鑑賞(ペテルブルグ3泊) 空路、帰国の途へ(機中泊) 東京・成田空港着 フィンランド航空利用
年末年始には欠かせない華やかな催し「ロシアの冬」芸術祭。モスクワのポリショイ劇場、サンクト・ペテルブルグではマリンスキー劇場(旧キーロフ劇場)などで、ロシアが誇るバレエ・オペラの最高峰をご鑑賞いただけます。旅行費用に各都市1回ずつ劇場鑑賞が含まれます。
二大都市間の移動は、「赤い矢号」などの寝台特急列車で。列車の旅の前にはレストランで、ロシア民謡も心ゆくまで。今年建都300周年の古都サンクト・ペテルブルグ。ロシア皇帝の「冬宮」エルミタージュ美術館と、第二次大戦でナチスドイツによって持ち去られ、ロシア人の執念で修復、公開されたばかりの「琥珀の間」が見逃せないエカテリーナ宮殿を見学。世界遺産の壮麗な建築と世界有数のコレクションを。
1月4日出発のコースでは、ロシア旧暦のクリスマスにあたる1月7日が含まれています。ジェッド・マロース(ロシアのサンタクロース)やスネグーロチカ(雪姫)などの仮装行列や、雪上のトロイカ競争など、この時期ならではの様々な伝統行事をお楽しみいただけます。



消費者に安心できる確かなものを届けようと、アイガモによる無農薬栽培米を視察する、東京の米屋さん(長野県北佐久郡浅科村)

「ものを作っている農民」 食の安全と生産者の思いを語る

農民運動長野県連合会 事務局長 宮澤 国夫

今、スーパーの惣菜売り場をのぞくと、天ぷら、野菜の煮つけをはじめ「おふくろの味」を感じさせるものも、原産地表示を見ると国際色が豊かです。ファーストフード店、コンビニなどでも輸入品が多く使われていることが考えられます。

私たちが、日常的に食べている輸入農産物から、残留農薬がゾロゾロ検出され、社会的問題になっていきます。輸入小麦から残留農薬、中国産冷凍ほうれん草からは基準値の九倍の発ガン農薬、ゴボウ、スナックエンドウ、絹サヤからも発ガン性農薬輸入農産物を使ったと思われるファミーレストランのほうれん草ソーテーから強発ガン性農

薬、ベビーフードからも殺虫剤が検出されています。輸入農産物には残留農薬だけでなく、未許可の遺伝子組み換え食品も混入していました。

加えて企業の偽装表示問題と、食の安全に対する不信感は募るばかりです。こんな消費者のみなさんの思いは、世論調査の結果(読売新聞〇二年八月実施)にも表れ、八六%の方が「食品の安全性に不安」を感じています。特に輸入農産物に関して、七〇%近くが「安全性が低い」という印象をもち、「国内の農業を守るため、輸入を制限するのは当然だ」と七七%が答えています。そして、「日本に食料不足の時代がやってくる

食の安全とスローなライフスタイルを考える キューバの旅

日程：2004年3月17日(水)～24日(水)
費用：近日中に発表
よびかけ：高橋 清(多古町旬の味産直センター代表理事)
飛田 元雄(農民運動茨城県連合会書記長)
宮澤 国夫(農民運動長野県連合会事務局長)

*日本の食の安全と自給率向上、地産地消のとりにくみで注目の農民連、産直協議会の方々の旅です。これからの日本と食について一緒に考える旅。
*旧ソ連崩壊とアメリカによる経済封鎖の中で、食糧自給をめざし努力してきた国キューバ。農業分野の努力が世界的にも注目されています。ミミズなど有機農法にも注目し取り入れた持続可能な農業への努力、大規模生産から小規模農業と共同への転換など。一步一步食糧の自給と安全で安心な食の確保へと努力しています。
*今回の旅では、有機農業を実践している農家や研究所、ミミズなどの販売所を訪問。有機野菜を中心とするレストランで新鮮な野菜料理も堪能します
*キューバは「社会主義をめざす国」としても有名です。人口に占める教員や医療関係者の人数など、教育、医療の水準は他の中南米諸国を大きく上回っています。こうした成果の見学もいたします。



*ラテン音楽のメッカ、あの「ブエノビスタソーシャルクラブ」で紹介された、ゆったりとしたライフスタイル、年配者の誇りとゆとりを持った生きざま。そしてカリブの海と大自然。あなたに生きる力を与えてくれる国です。

か」の問いには、六九%の方が「そう思う」と答え、二一世紀の食糧不足を危惧しています。私たち農民連は、全国各地で消費者の皆さんに安心・安全な農産物を直接お届けするともに、学校給食への食材の提供、市場や卸の方々と共同、お米屋さんや八百屋さん、地域に根を張ったスーパーとの協力など様々な形で、産直の取り組みを進めています。農産物価格が暴落し、ものが作りづらい昨今ですが、「ものを作らなければ、輸入が増える」「ものを作ってこそ農民」を合言葉に、消費者のみなさんの願いと期待に応えられるよう努力を重ねていきたいと思います。

幸い、長野県の果樹・野菜の種類は豊富で、高原地帯と千曲川、天竜川、木曾川に代表される河川周辺の肥沃な土地、昼夜の寒暖差により「あまみ」のつたおいしい作物ができます。減農薬・減化学肥料・特に土作りには有機質肥料をほどこす努力など、安心・おいしいは当たり前といえるよう、精根を傾けてきました。

「安心できる国内産農産物を食べたい」との願いにお応えします

お問い合わせ先
長野県農民連産直協議会
TEL.026-235-3667
FAX.026-235-3703

<取扱品目>
りんご、巨峰、ブルーベリー、梨、ラ・フランス、市田柿、果汁100%ジュース、地元産大豆100%みそ、しょうゆ、米、そば、農家秘伝「まぼろしの白毛餅」等多数。少量でもご相談ください。

キューバ・コスタリカ・ペルー・ボリビアの旅

キューバ周遊とカリブ海の旅 9日間 ～ハバナ*サンティアゴ・デ・クーバ*パラデロ～

2004年1月12日(月)～1月20日(火)
2004年3月19日(金)～3月27日(土)
旅行費用：348,000円
募集定員：15人(最低実施人員10人)
かつての首都サンチャゴ・デ・クーバで、フィデル・カストロが、キューバ革命の口火を切った、モンカダ兵営記念館や革命家ゆかりの地を訪問。
首都ハバナではユネスコ世界遺産の旧市街の散策と共に、キューバをこよなく愛した、「老人と海」の作者・ヘミングウェイゆかりの地も訪問。
カリブ海のリゾートパラデロ海岸に2泊して、白砂の美しい海岸が広がるビーチとリゾートホテルの滞在を満喫。
オプショナルツアーで、世界的に有名なダンスキャバレー「トロピカーナ」のショーもお楽しみいただく事ができます。
成田5 カナダ<乗継地泊> 5 ハバナ着 着後：ハバナ市内見学(革命広場、モロ要塞、世界遺産の旧市街)<ハバナ泊> ハバナ周辺見学(ヘミングウェイゆかりのコヒーマル、ヘミングウェイ博物館、革命博物館)<ハバナ泊> ハバナ5 サンティアゴ・デ・クーバ 着後：サンティアゴ見学(モンカダ兵営博物館、ホセ・マルティ墓所、モロ要塞、旧市街)<サンティアゴ泊> 午前：自由行動 午後6 パラデロ海岸へ移動<パラデロ泊> カリブのリゾート地、パラデロに滞在<パラデロ泊> 午前：パラデロ6 ハバナ着後：自由行動 夜：ハバナ5 カナダ<乗継地泊> 5 帰国の途へ 日付変更線通過 午後：成田到着

コスタリカ 平和と自然の旅 8日間

1月 5日～12日 334,000円
4月12日～19日 340,000円
平和憲法の国・自然環境保護先進国コスタリカ
古代から続く豊かな熱帯の自然を愛し、動物・植物など様々な生物が共存する姿を。朝・夕、太陽と共に始まる生活、自然に触れ、心をリフレッシュする旅。
東京・名古屋・大阪発5 アメリカ南部の商業都市アトランタへ(泊) 5 空路、コスタリカの首都サンホセへ。サンホセ市内見学(国立博物館、国立オペラ劇場など) 終日：サンホセで平和と人権について懇談。午後：自由行動(泊) サンホセ発6 カリブ海に面したトルトゲーロ国立自然公園へ。ボートに乗り換え、約1時間のジャングルクルーズ。ワニやイグアナ、ナマケモノ、たくさんの種類の野鳥など生息する動物たちの姿を観察。トルトゲーロ・ロッジ泊 早朝、熱帯雨林の中を歩いて散策。一本の木で棲息するアリ、昆虫、植物たちを追います。午後8 6 ボートとバスを乗り継いで再び、サンホセへ。(サンホセ泊) 午前自由行動。午後5 再びアトランタへ(泊) 午前アトランタ発5 帰国の途へ(機中泊) 午後：東京・成田着5 大阪・名古屋・福岡・札幌へ



遥かなるインカ・空中都市ペルー・ボリビアの旅12日間

2004年1月9日(金)～1月20日(火) 638,000円
定員15名(最低実施人数10名)成田空港より添乗員同行南米ペルーとボリビアをゆっくりのんびり周遊する特別企画。
各所で謎の遺跡を見学。神秘的なチチカカ湖の遊覧もリマ～ウルバンバ～クスコ～プーノ～ラ・パス～機中 12日間
成田発 日付け変更線を越えアメリカ・ヒューストン経由ペルーの首都リマへ
午前：自由行動(休息) 午後：リマ市内見学
午前：インカの都クスコへ
午後：クスコから聖なる谷を抜けウルバンバ渓谷へ
終日：マチュピチュ見学
空中都市、失われた都市とも呼ばれる謎の遺跡見学。
終日：クスコ市内見学
夕刻：folkloreレディナーショー
終日：シルスタニ遺跡を見学しながらプーノへ。
午前：ウロス島見学。午後：自由行動
終日：チチカカ湖見学
夕刻：太陽の島を経由してボリビア・ラパスへ
午前：ティワナコ遺跡見学。午後：自由行動
午前：再びリマへ移動。午後：自由行動
アメリカ・ヒューストン経由で帰国の途へ成田到着。

新企画

湯布院のまちづくりとスローフード
日出生台演習場を見学
冬の湯布院をたずねる旅 3日間

農業と観光とのかかわりを大事にし、ゴルフ場やリゾートマンション、米軍海兵隊問題などで絶えず戦ってきた街、湯布院を見学。

2004年1月25日(日)~27日 費用は9月下旬発表
定員：25名(最低実施人数15名) 羽田空港より添乗員同行

湯布院の街づくりとスローフードについて観光協会の方からお話ししていただきます。

玖珠・九重・湯布院・安心院の3町にまたがる日出生台演習場を地元の方から実弾射撃演習の問題等について案内していただきます。

湯布院の食材を使った膳料理や古式いづみそばなどの食事も楽しみの一つです。

好評に続き
ちひろに出逢う 安曇野への旅

○豊かな自然に囲まれた安曇野ちひろ美術館を堪能していただくと同時に、美術館の学芸員の解説でちひろの作品をじっくり鑑賞します。

○戦争中のちひろの疎開先、松本市のちひろゆかりの地を美術館学芸員の案内で訪れます。松本市新橋の岩崎家のことや終戦直後の革新的な人々との出会いの場所、松本公会堂のことなど、エピソードをまじえ、若き日のちひろをご紹介します。

11月20日(木)~21日(金)
旅行費用：29,500円 定員：40名(最低実施人員25名)
申込み締切日：出発の10日前 定員になり次第締め切ります。

【日程】1日目：午前・東京 新宿発 松本市着(昼食) 午後・ちひろゆかりの地 訪問 夜・交流会 宿泊・松本市 2日目：ちひろ美術館でちひろの作品をじっくり鑑賞(美術館学芸員の解説で) 大王わさび農場見学 夕刻・東京 新宿着

当社推薦の宿 ⑬

民宿「海野」

〒901-1504 沖縄県島尻郡知念村海野149
連絡先：Tel/Fax. 098-947-1810
HP：http://www2.ocn.ne.jp/umino/
交通：那覇バスターミナルから10番ホームで38番「志喜屋」行きのバスに乗車。38番「志喜屋」行きだけが民宿海野を通るバスです。約50分でバス停「海野」に到着します。ひとつ手前のバス停が「海野入り口」で似た名前なのでご注意ください。

ホームステイ気分でお泊まりの宿です。南部観光に最適。料理は沖縄の普通の家庭料理でお迎えいたします。親戚のお婆ちゃんの家にお泊まりにいく感覚で気軽においでください。

当社、新聞を見たと言っていたらコーヒーかジュースをサービスします。
宿泊(1泊2食)大人1人4,500円、小学生以下3,500円



藤本了江さんの(ふじもと すみえ。家庭科教育 研究者。日本AALA理事)

ベトナム フォーサオ
(揚げきしめん)

エスニック料理 連載 22回

材料(5人分)		
きしめん(生)	3玉	きしめんは油でパリパリに揚げる。
牛肉	200g	牛肉は2cm幅に切る。セロリ、白菜は細切り、ニンジン、タケノコは細いせん切り、タマネギは薄切りにする。
セロリ	1本	フライパンに油大さじ2を熱し、タマネギを透明になるまで炒め、肉を入れてさっと炒め、塩で味をつける。
白菜	3枚	肉を皿に取りだし、油大さじ1を足し、ニンジン、タケノコを炒め、うま味調味料、塩を入れ、さらに白菜、セロリを加えて炒める。
ニンジン	1/4本	
タケノコ(水煮)	1個	
タマネギ	1/4個	
サラダ油	大さじ3	
塩	小さじ2	
こしょう	少々	
片栗粉	大さじ3	水溶き片栗粉を作り、に入れてとろみをつけ、の肉を戻す。
水	2カップ	皿に揚げたきしめんをのせて をかける。
揚げ油	適量	食べるときにこしょうをふる。

かもがわ出版「家庭でできるエスニック料理」より

編集後記

今年ほど旅行の雰囲気が消えた年はありません。業界では初めのうちは「ウォーズ、サイズ」と語呂合わせの冗談のような挨拶を交わしていましたが、五月の連休を過ぎ、徐々に深刻さが増してきました。

中国やアジアだけではなく、カナダ、ヨーロッパ、世界中の旅行関連産業が、その影響を受けました。

多くの職場では、感染地域の旅行自粛通達が出されました。感染地域だけではなく、「海外に行くなら、帰ってきて一週間から十日は様子を見たほうがよい」といわれ、旅行を断念された方もいました。風評は広がるのが早いものです。WHOによる克服宣言後の夏になった今も、通達は出しっぱなしで打ち消されてはいそつです。

私たちは、この間SARSをいち早く克服したベトナムに、「がんばれベトナム!」の気持ちで特別企画を組んで、落ち込んでいるベトナムの仲間を励ましてきました。おかげさまで短期間に多くの皆様のご応募をいただきました。ありがとうございました。

私たちは、引き続きPeace, Green, Humanityのテーマを掲げ、「安全・快適で、有意義な旅行」を作っています。読者の皆様のご理解とご援助をお願い申し上げます。(KM)

国内の旅・自然体験

琉球探訪沖縄本島4日間

12月26日(金)~29日(月) 99,000円
南部戦跡・中部基地を地元の平和ガイドの案内で見学。沖縄の歴史と自然・文化の理解をしっかりと深める平和の旅。

屋久島シリーズ

自然の宝庫・世界自然遺産の島をあるく
秋広葉樹の色づいた森の中を歩く
屋久島・自然体験 5日間

11月11日(火)~15日(土) 145,000円
終日、縄文杉への登山。現地のガイドの案内で自然をより満喫。
オプションで宮之浦岳登山や白谷雲水峡を散策。

北海道春の花旅シリーズ

春を彩る アポイならではの高山植物との出会い
“花の宝庫”アポイ岳とニセコ

2004年5月16日(日)~20日(木)
標高800mの低さで高山植物を満喫。
アポイにしかない花々の咲く季節。
上記ツアー費用は1月中旬頃発表

「美ら山」山原ハイキング

2004年3月14日(日)~17日(水) 費用は1月中旬発表
未知なる大自然・ヤンバルをハイキング マングローブ林の中をカヌー体験

冬冬山麓ではハイビスカスが咲く季節
屋久島・自然体験 5日間

2004年1月18日(日)~22日(木)
2004年2月15日(日)~19日(木)
ヤクスギランドで現地のガイドの案内で遊歩道を散策。
上記ツアー費用は11月中旬頃発表

~レブンアツモリソウの季節~
春の花を楽しむ礼文島と利尻島

2004年5月23日(日)~27日(木)
2004年5月30日(日)~6月3日(木)
北海道の大雪山なら1600メートル以上でないと見られない花々が低地で咲き乱れる季節を訪れます。
上記ツアー費用は1月中旬頃発表

世界自然遺産を歩く

秋~落葉の白神山地を訪れる
白神岳登山とブナ林を歩く

10月19日(日)~22日(水) 118,000円
日本で初めて世界遺産に登録された白神山地を歩きます。日本海を一望できる白神岳を登山。

奄美

古代から続く奄美の大自然と
日本のゴージャス・田中一村の美術館を訪ねる旅
奄美 4日間

11月16日(日)~19日(水) 116,000円
マングローブの原生林散策やバショウとソテツの群生地など、奄美の自然を満喫。

